



## 高知大学大学院 総合人間自然科学研究科

### 地域協働学専攻（修士課程）案内

#### 概要

2015年の地域協働学部開設から5年を経て、「地域との協働による学び」をさらに理論的に体系化するべく、2020年度より地域協働学専攻が開設されました。

本専攻では、地方創生及び今後の地域の再生と発展のための3つの課題、①後継者養成できる地域協働リーダーの必要性、②住民とともに策定された地域の長期ビジョンの必要性、③地域における新たな資源開発と市場開拓の必要性、に基づき、これらを解決できる人材を養成します。

#### 出願資格と方法

② 募集人員：一般選抜および社会人選抜合わせて3人

②主な出願資格：一般選抜については、地域協働学部における実習時間 600 時間に相当する現場経験を有し、大学を卒業した者及び2020年3月までに卒業見込みの者など募集要項に示す項目に該当する者、社会人選抜については、地域協働学部における実習時間 600 時間に相当する現場経験を有し、大学卒業もしくはそれと同等の資格を取得している者など募集要項に示す項目に該当し、2021年3月31日までに3年以上の社会人としての経験を有する者

③出願期間 【第1次募集】 2020年8月25日(火)～8月27日(木)8時30分～17時《必着》

【第2次募集】 2020年12月22日(火)～12月24日(木)8時30分～17時《必着》

【第3次募集】 2021年2月16日(火)～2月18日(木)8時30分～17時《必着》

④アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

地域協働学部における実習時間 600 時間に相当する現場経験を有し、地域理解、企画・事業開発、

実践とその評価・改善などに関する知識と表現、問題解決のための志向を持つ方を求めています。

## ⑤選抜方法

### 1) 一般選抜

筆記試験（総合問題）：地域理解及び地域協働に関する知識・技能を問います。主な出題範囲を地域社会学、地域経済・産業論、地域学習・教育論の3分野からとし、うち2分野からの選択式とします。

筆記試験（小論文）：地域協働に関する思考力・判断力・表現力について問う。

面接：出願時に提出された、活動報告・証明書等を参考に、関心・意欲・態度に関して行います。

### 2) 社会人選抜

筆記試験（小論文）：地域協働に関する知識・技能及び思考力・判断力・表現力について問います。

面接：出願時に提出された、活動報告・活動証明書等を参考に、関心・意欲・態度に関して行います。

## 得られる学び

本専攻は、社会学・経済学・教育学を中心的な学問領域として、協働的な学びの組織化や地域の長期ビジョンの策定に係る教育・研究を推進するとともに、地域の産業面・文化面で資源開発等と関係を有する農学・美術・スポーツなどを含めた学際的な領域により構成しています。研究については、希望する担当教員の個別指導により進めるとともに、ゼミナールとして複数教員および学生との議論により、学びを深めることができます。

これらの学びのなかで、社会教育主事、社会調査士などの資格を取得することも可能です。

## 入学後のサポート

奨学金のほか、資格・条件に応じて入学料・授業料の減免などを申請できるほか、TAとして手当の支給を受けながら各講義や実習などに参加できます。なお、大学院生専用の共用研究室もあります。

また、修了年限を3年または4年に延長可能な長期履修制度（授業料は2年分のみ）を使って仕事との両立が図れるほか、一部講義を除き夜間および土日の開講も調整可能です。